

青　い　鳥

[6月号]

約束を守れることの大切さとたのしさととは

各クラスにて「モンテッソーリ指導」を行うにあたって、その中でまず子どもたちと次の基本的な約束をし、教具の指導をします。

- ① 室内に入るときは、靴をそろえてから入る(出るときに靴を履きやすいようにするため)・・・しつけとして大切なことです。身の回りの整理ということの基本となるものです。しっかりと身に付けることが大切なことです。
- ② 手をきれいに洗うこと・・・みんなで使う教具だから、いつもきれいに使うためです。
- ③ 話をするときには小さい声で話しましょう。・・・室内がうるさ過ぎると、お互いの話し合う声がだんだん大きくなるからです。
- ④ 自分が使いたい教具があっても、順番を待って自分の番にきたら使うこと・・・けんかのほとんどがこのことから始まります。待っている(我慢する)という習慣が身に付きます。

個人的に指導をしなければならない教具が多いために、子どもたちは話を聞く姿勢がよくできてきます。

毎月、約束事を確認しながら進めていきたいと思っています。しっかりと身に付けて、自分から進んで何事も出来る「自律」した子どもになるように指導して生きた良いと思っています。ご家庭でも励ましの言葉をかけてあげてください。

園　長　　靄　山　恭　子